

様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度第1回行田市郷土博物館協議会
開 催 日 時	平成25年8月21日（水） 開会；午前10時00分 ・ 閉会；午前11時20分
開 催 場 所	郷土博物館2階 会議室
出席者（委員） 氏 名	漆原亮 小野田誠 原口知宣 田口静子 新井孝義 永沼規美雄 榎本武弘 鈴木征子 若松良一
欠席者（委員） 氏 名	鈴木貴子
事 務 局	館長 門井輝秋 副館長 鈴木紀三雄 主任 浅見貴子 主事 澤村怜薫 飯塚千絵
会 議 内 容	平成25年度上半期事業報告 平成25年度下半期事業計画 その他
会 議 資 料	平成25年度第1回行田市郷土博物館協議会次第 名簿 平成25年度第1回行田市郷土博物館協議会資料
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人なし

発 言 者	会 議 の 経 過 (議題・発言内容・結論等)
	<ul style="list-style-type: none"> * 市民憲章唱和 * 委嘱状交付 * 館長あいさつ * 事務局自己紹介
	<p>議 事</p>
事務局 会 長	<p>これより議事に入りますが、進行は永沼会長にお願いします。 これより議事に移らせていただきます。よろしくお願いします。 本日の議事につきましては公開をお願いしております。公開について御異存はないでしょうか。</p>
委 員	<p>公開としてよい。 (傍聴人なし)</p>
会 長 事 務 局 会 長 委 員 会 会 長	<p>本日の議事録の署名人について、事務局より提案はありますか。 それでは、榎本委員、若松委員にお願いします。 事務局の提案でよろしいですか。 よろしい。 それでは、榎本委員、若松委員にお願いします。 では、次第に沿って進めさせていただきます。(1)の平成25年度上半期事業報告を事務局より説明をお願いします。</p>
事 務 局	<p>(事務局より、管理部門 資料を説明) (事務局より、学芸部門 資料を説明)</p>
会 長	<p>上半期事業報告につきまして御意見をいただきたいと思います。</p>
委 員	<p>入館者数が伸びているが、無料入館者と比べて有料入館者の割合が多いのは珍しい。どういう階層の人が来るのか教えてもらえると利用動態がわかると思う。</p>
事 務 局	<p>一般の個人入館の比率が高いというのが当館の特徴である。 加えて、今年度は団体入館者が 6,514 名 (7 月末時点)、昨年度 1 年間の団体入館者は 9,446 名だったので、今年度は既に 4 ヶ月で昨年度の 6 割近くカウントしている。これは『のぼうの城』の映画が公開され、その効果で忍城の知名度が上がり、県外 (特に東京、神奈川方面) から団体旅行で見えられて、博物館に入館する</p>

	<p>方が増えたということなのかと思われる。5月はほぼ毎日団体客が入っていた。個人客も県外ナンバーが多く見られるようになり、以前と比べて割と広い範囲から来ていただいているのではないかと思う。</p>
<p>委 員 会 長</p>	<p>市立の博物館でありながら全国から来館に来ていることがわかった。負担も増えると思うが、それを張り合いにして更なる発展を祈念するとともに協力できることはしていきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>入館者が増えたのは『のぼうの城』効果というが、職員の努力が大きいと思われる。来館者の口コミにより評判が広がり来館者が増えていると思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>子供ミュージアムの「鎧を着よう」についてですが、無料で鎧が着られて、写真も撮れ、非常にサービスが行き届いていると思った。参加者が9日で643名ということは1日平均70名が参加しているということなので、大変人気のある事業なのだと感想を持った。どんな様子か聞きたい。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>今まではラウンジスペースで行っていたが、人気が高まり、開始前に順番待ちをする方が非常に増えたため、今年のゴールデンウィークは講座室に鎧を持っていき、中で整理番号を配って待ってもらう形に変更した。鎧は大人用2領、子供用2領、合計4領を使い、ボランティア3～5名、人手が足りないときは学芸員も手伝って着付けをしている。最近は大人の参加者が増えており、80～90歳代の方もいる。子供用の鎧は、小学校低学年くらいのお子さんが一番きれいに着られるサイズだが、2,3歳のお子さんでも兜だけでもかぶらせてほしいということがかぶっていくというように非常ににぎわっていた。</p>
<p>委 員 事 務 局</p>	<p>すごく人気がありいいと思った。 ボランティアの方がいるからこそできることなので、非常に助かっている。</p>
<p>会 長</p>	<p>来館者が多いとそれだけ来客の対応も大変だと思うが、対応態勢について教えてもらいたい。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>常勤の学芸員が3名、受付と展示解説を兼ねた臨時職員が毎日3名ずつ出ており、基本的に館内の解説は臨時職員の展示解説員が依頼があれば対応するという形をとっている。団体客の場合は事前に解説の有無の希望を聞いて対応している。土日などで混み合っていると、解説が重なることがあるので、そういったときは学</p>

<p>会 委 員</p>	<p>芸員が対応している。あとは、行政視察や専門的な話が必要なときには学芸員が対応する。</p> <p>観光ボランティア、シルバー人材センターの観光ガイドが博物館にも観光客を連れてくるのだが、館内の解説は職員か展示解説員が行うという方針である。間違った情報が流れてしまうと困るし、展示は博物館で行っているので内容の責任は館の職員が持つという考えのもと、館内の解説は博物館の職員が行っている。</p> <p>体験学習で講師をしている委員に事業の様子を教えてほしい。</p> <p>竹細工作りを通じて、道具の使い方・マナーも含めて講習をしている。刃物の使い方など、親御さんもよく知らないようだ。</p> <p>学校でも体験学習の依頼を受けるが、最近は、刃物を使わないで物をつくらせてほしいと言われる。6,7年前は刃物を使って物をつくらせてほしいと言われたものだ。それだけ下準備も大変になった。</p>
<p>会 委 員</p>	<p>子供だけでなく親御さんにもご指導いただきありがたく思う。</p> <p>学校での子供たちの様子はいかがですか。</p> <p>自分の住んでいる場所を知ることから発展して学習を進めているが、博物館には社会科見学を通じてお世話になっている。博物館のような学ぶ場所があり、またそれに携わる人がたくさんいるのだから、できる限りそのような地域資源を使って郷土を学ぶ学習を進めていきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>体験学習で最近変わってきたなと思うことは、親子で参加のものだと親のほうが夢中になってしまうことがある。親御さんが知らないことややったことがないことも多いのかなと思った。</p> <p>今後も学びの場としてご提供よろしくお願ひしたい。</p>
<p>会 事 務 局</p>	<p>5年ぶりに他市の学校から行田市に戻ってきて行田市は歴史があるとつくづく思った。もう一度行田市を見つめ直し、市の一員であることを認識し、誇りに思いたい。そして子供たちにもそんな学習をさせていきたい。</p> <p>企画展、テーマ展の入館者数は昨年と比べていかがですか。</p> <p>テーマ展についてはおそらく昨年度より多くなることは確実である。春の企画展はGW期間中を中心に伸びており、昨年度より増加した。</p>
<p>会 事 務 局 委 員</p>	<p>博物館実習は学芸員の資格を取るためのものか。</p> <p>そうである。</p> <p>体験学習は家にはできない貴重な体験だと思った。</p>

委員	講師出向について、出向先に公民館もあるが、これは公民館の生涯学習の一環なのか。
事務局	生涯学習の一環である。
委員	生涯学習の一環としてこういった事業をもっと進めていかねばと思っているが、少ない学芸員の中で出向いてもらうのは大変か。
事務局	昨年よりは依頼は少なくなった。昨年はやはり『のぼうの城』の影響が大きかったのだと思う。また今年度、歴史学の学芸員が1名入ったので、今後分担して行なっていく。
委員	講義の依頼は断らないようにしている。行田の歴史を知ってもらうとともに出向いた先で、博物館の行っている事業の話をする事で館への理解を得ることができる。よって積極的に受けている。行田にはいろいろなものがある。市民にもっと地元のことをよく知ってもらって愛してほしい。公民館長にも相談しておくのでよろしくお願ひしたい。
会長	研修会で行田の歴史の話を依頼したときに、行田はよいねと言われた。市民にもっと市のことをよく知ってもらって郷土を愛してもらえばもっとよくなるのではないかと思う。
事務局	学芸員増員予定であったが、増えたのか。
事務局	1名文化財保護課に異動し、1名博物館に入ったのでプラスマイナスゼロである。
委員	サマーシアターについて聞きたい。
事務局	「忍城の鯨」は、御三階櫓の鯨の作成段階から乗せるまでを追ったメイキングビデオになっており、こちらは博物館内にフィルムが保管してある。「最後の空襲—熊谷—」は、行田の図書館の視聴覚ライブラリーから借りて上映している。
委員	「最後の空襲—熊谷—」は解説したりしたのか。
事務局	解説は特にしていないが、内容は、隣の熊谷市で空襲があり、体験者の話を基に作られたアニメーションであるという話をしている。それぞれ講座室の16ミリフィルムの映写機を使い上映をしている。
委員	アニメーションだとお子さんも見るか。
事務局	終戦記念日に近いころ、お子さんを対象としているが、参加者は大人が多い。
委員	私自身も当時の記憶が残っている。
会長	それでは(2)の平成25年度下半期事業計画に移らせていただきます。

事務局	(事務局より、資料の説明)
会長	ただいまの事務局の説明について何かご意見、ご質問はございませんか。
委員	三市の合同企画展について話を聞かせてほしい。
事務局	<p>友好都市締結 15 周年を迎え、何か共同事業ができないかと昨年春頃から三市の博物館等で打ち合わせをしていた。友好都市となったきっかけは文政 6 年の三方領知替なので、関わった 3 つの大家の資料を 1 箇所を集めて 3 市の博物館・資料館を順次巡回展示しようという企画を立て、8 月 10 日（土）に白河でオープンした。続いて 9 月 7 日（土）から桑名会場、10 月 5 日（土）から行田会場というスケジュールである。</p> <p>開催するにあたって、展示図録や資料運搬など共通の費用が出てくる。そのため、実行委員会をつくり、主催は実行委員会、共催を 3 市の博物館、資料館とした。</p> <p>白河では、通常の企画展よりは人が入っているということなので、出だしは順調と思われる。</p> <p>これだけの大家の資料が一堂に集まるのは後にも先にもないと思うので、ぜひ足を運んでもらいたい。</p>
会長	ポスターはできているのか。
事務局	できており、9 月半ばに各自治体に配布して、提示してもらう予定である。
会長	自治会長もしているので、興味があった。他に何か意見はありますか。
委員	領知替がどうして行われたかの経緯は解説しないのか。
事務局	<p>展示室に三方領知替の経緯を載せた大きいパネルを作って掲示してある。加えて 3 つの大家がどういう特徴を持っているかという解説もしてある。日本地図もつけてある。展示図録にも解説が載っている。展示解説会を行田会場では 10 月 14 日、19 日に実施予定である。白河と桑名からも担当学芸員が来て説明をするという形をとる。白河には桑名と行田、桑名には白河と行田の学芸員が行く予定である。</p>
会長	下半期事業計画についてはこれで終了します。
事務局	<p>それでは、(3) その他について事務局よりお願いします。</p> <p>毎年行っている協議会の視察研修旅行についてだが、今年は日帰りで、例年と言うと 10 月下旬から 11 月中旬に市役所のバスで行</p>

会 委 会	長 員 長	く予定である。視察先の案としては、東京西部方面を考えている。視察についてはその方向で異議ないでしょうか。 異議なし。
事 務 局		それでは、(1)～(3)と議事を進めてまいりましたが、慎重にご審議いただきましてありがとうございました。また、いろいろな角度から御意見をありがとうございました。以上で議事は終了いたします。では進行をおろさせていただきます。
副 会 長		長時間にわたりご審議ありがとうございました。最後に閉会のことばを鈴木副会長よりお願いいたします。
		あいさつ